

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、21人の議員が一般質問（全員が一問一答方式を選択）を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

会派名など	質問者数
水曜会	6人
公明党	4人
誠勇会	4人
市民連合	2人
日本共産党	2人
新政クラブ	1人
無所属	2人

*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。



木村 秀樹
水曜会

学校規模・学校配置の適正化計画の地域への影響は

問 ふるさと学習や地域のまちづくりは今後どうなるのか。

答 各校で学んできた地域の歴史・伝統文化や産業、人物などについて、お互いに交流する合同授業や合同行事を計画し、新しく校区となる地域への興味や関心を深

めていく。地域のまちづくりは、現在の小学校区を基本に町内会等が形成され地域に根付いていることなどから、現在の小学校区を基本に継続・発展することが重要である。現在の体育館は災害時の避難場所として引き続き地域で活用し、その他の学校施設は地域の活性化の視点から個々の学区の状況を踏まえ、公共施設サービス再構築全体の中で幅広く検討する。

また、地域まちづくり計画に基づく取り組みやまちづくり推進事業への財政支援などは従前通り継続する。



連石 武則
水曜会

過小規模小中学校の再編の進め方は

問 ①再編の進め方は。

②内海町地域から学校がなくなる計画であり、地域の懸念は非常に大きい。現状と課題、児童生徒数の将来推計は。

答 ①地域説明会を開催し、課題の共有と円滑な合意形成に努め

る。合意後は保護者や学校関係者地域の代表者などによる開校準備委員会を立ち上げ、開校へと取り組みを進める。

②内浦・内海両小学校は複式学級の状態が続く集団教育の効果が発揮できにくく、内海中学校は全ての教科に常勤の教科担任を配置できない、部活動の種類が限定されるといった課題がある。また両小学校の児童数は減少傾向になると見込んでおり、内海中学校の生徒数は今後20人から40人程度で推移すると想定される。



榊原 則男
水曜会

日本遺産認定の申請に至らなかった理由は

問 本市には、日本遺産に認定された18件に匹敵する鞆の町並みや神辺町の廉塾など、魅力ある文化財があるが、申請に至らなかった理由は。

答 認定申請を行うには、歴史文化基本構想を策定済みの市町村

とする等、一定の要件を必要としており、本市はそうした要件を満たしていないことからこのたびの申請を見送った。

本市の貴重な地域資源である鞆の町並みや神辺町の廉塾など、保存整備事業に現在取り組んでおり認定制度について、今回認定された自治体や関係機関からの情報収集に努め、今後の対応について検討する。



廉塾

た自治体や関係機関からの情報収集に努め、今後の対応について検討する。

* 9月定例会の一般質問の録画放送を見る場合
福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。